

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させていただきます。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬 白

記

◆ 変更実施日

平成27年4月1日（水）ご依頼分より

◆ 変更項目

検査項目

- カルシトニン
- ヒト癌胎児性フィブロネクチン

● 変更一覧表

案内書掲載頁	項目コードNo.	検査項目	変更内容	新	現	備考
28	0826 4	カルシトニン	検査方法	ECLIA	RIA2抗体法	国際標準品を用いたnon-RIA試薬への変更。 検査方法、基準値、報告範囲、保存温度、検体取り扱い、その他、参考文献の変更。 所要日数の短縮。
			基準値(単位)	男性 9.52以下 女性 6.40以下 (pg/mL)	(総合検査案内参照)	
			報告範囲	0.50未満、 0.50～99900000	10以下、10～1600、 1600以上	
			保存	必ず凍結保存してください。	冷蔵保存してください。	
			所要日数	2～4日	4～7日	
			備考	速やかに血清分離後、凍結保存してください。	(記載なし)	
35	2572 5	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	容器 および 採取方法	W5 (4頁をご覧ください)	W5	現試薬販売中止による後継新試薬および新採取容器への変更。

変更後の主な検査項目要項

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
0826 4 (4C035)	カルシトニン	血清 0.5	↓ X	凍結	2～4	143 ※4	ECLIA	男性9.52以下 女性6.40以下 (pg/mL)	速やかに血清分離後、凍結保存してください。
2572 5 (5C111)	ヒト癌胎児性 フィブロネクチン	腔分泌物	W5	凍結 (1ヵ月)	2～4	204 ※5	ELISA	陰性	検体採取方法は本NEWS 4頁をご参照ください。

※4: 生化学的検査(Ⅱ)判断料

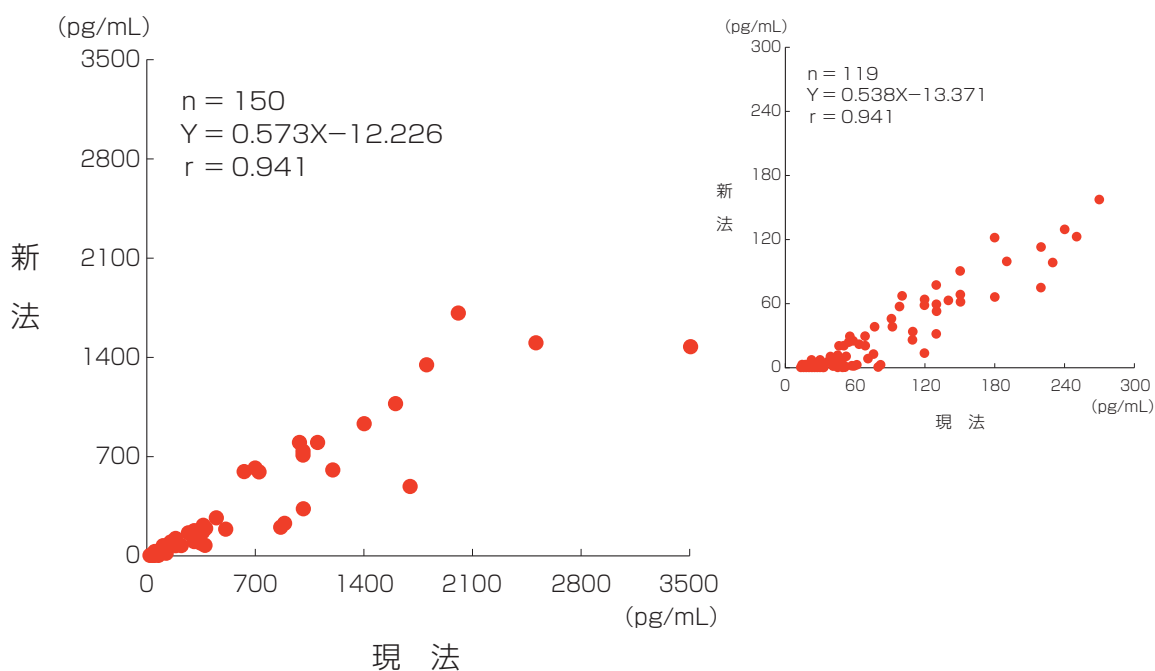
※5: 免疫学的検査判断料

●カルシトニン

WHO推奨の国際標準品を用いたnon-RIA試薬へ変更させていただきます。測定感度が向上し、所要日数が短縮されます。変更に伴い、検査方法、基準値、報告範囲、検体保存温度、その他参考文献を変更させていただきます。なお、基準値はメーカー設定値です。

項目 コード No.	検査項目	変更内容	新	現
0826 4	カルシトニン	検査方法	ECLIA	RIA2抗体法
		基準値 (単位)	男性 9.52以下 女性 6.40以下 (pg/mL)	(総合検査案内参照)
		報告範囲	0.50未満、 0.50~99900000	10以下、10~1600、 1600以上
		保 存	必ず凍結保存してください。	冷蔵保存してください。
		所要日数	2~4日	4~7日
		備 考	速やかに血清分離後、凍結保存 してください。	(記載なし)

▶現法と新法の比較



●新参考文献

北川 亘, 他: 医学と薬学 72(1): 97~108, 2015.(検査方法参考文献)
岩瀬 克己: 外科治療 105(4): 347~352, 2011.

●ヒト癌胎児性フィブロネクチン


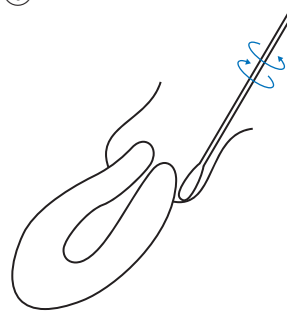
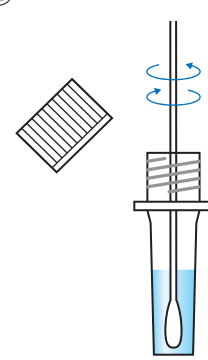
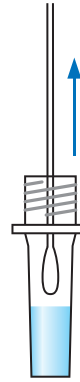

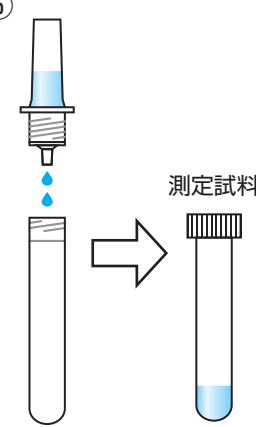
現試薬販売中止に伴い、新試薬に変更いたします。
併せて、採取容器および検体採取方法を変更させていただきます。

▶現試薬と新試薬の比較

		現試薬	
		-	+
新試薬	-	28	2
	+	1	23

判定一致率: 94.4% (n=54)

▶新容器形状および採取方法

容器形態	検査項目	保存	
<p>(W5)</p>  <p>内容 抽出液 貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>	ヒト癌胎児性フィブロネクチン	凍結	
	採取方法		
	<p>①</p>  <p>専用綿棒を後蓋円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。 【ご注意】 検体採取時に無理な力がかかりますと、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。</p>	<p>②</p>  <p>検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌物を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)</p>	<p>③</p>  <p>綿棒を検体抽出容器から引き抜きます。</p>
	<p>④</p>  <p>検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。</p>	<p>⑤</p>  <p>検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。</p>	<p>●注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検体の採取は陰洗浄前に行ってください。 ・ 検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。 ・ 検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。
		測定試料	